

燦々便り 115

季節の移り変わりは毎年、厳しくなります。どのように過ごされていますか！

地球温暖化が言われてから、夏の暑さと冬の寒さは比例する。と聞いていましたが、その通りになって本当に厳しいですね。その上春と秋が短くてちょっぴり、悲しいです。

私たちのように屋外のスポーツを楽しむ者だけでなく、誰もが感じている事かも、知れません。それでもテニスをしているから、暑さ寒さに強くなれる。と聞くと嬉しくなります。

だからこそ能勢杯も存在意義がある。と勝手に納得しています。スポーツの楽しさって何かあって、ときどき思います。

サッカーの三笥選手ですが、彼はただ走るより、ボールを蹴りながら走る方が速い。なんてニュース番組で聞きました。走ることと蹴ることの2つ同時にやる方が速くなる (なんで???)

テニスは飛んで来るボールに対し、何の抵抗もなく芯に当たった時の感触のよさが忘れられないからやめられないのだと思います。

そして能勢杯での楽しさは1試合の間にいろんな経験ができることだと思っています。

1例ですが、ゲーム中でもし相手があなたの苦手を知って、そこばかり攻めてきたとします。

そんな時、あなたはどうしますか？「嫌だな、嫌だな」と思っている間は相手の思う壺なんですね。それも忘れ、とにかくボールに集中しようとまず考えます、すると苦手を数多く打つということは素晴らしい練習方法だったりするのです。試合だから真剣味が違います。

嫌だと思ふことから嫌を変えると楽しくなって来る、相手もこれはダメだと気づくと、慌てて変えて来たりします。試合は物語 (起承転結) ♡ 毎回、新しい物語との出会い ♡

試合経験が多いほど対処する方法もどんどん身につきます。

まず、技術を学ぶことから、作戦も立てることができる。

能勢杯をこのように楽しんでください。

能勢杯

今年も能勢杯開催することができました。ありがとうございます

9チームという数で、最も良い方法は？と考えました。

対戦は8回にもなります。暑さの厳しい時期は出来るだけ避けられますように。

無理しないで進めてください。 出会い、ゲームを楽しみましょう。

